

新たな交通(瀬谷バス専用道線)の整備~EXPO後の将来のまちづくりに向けて~

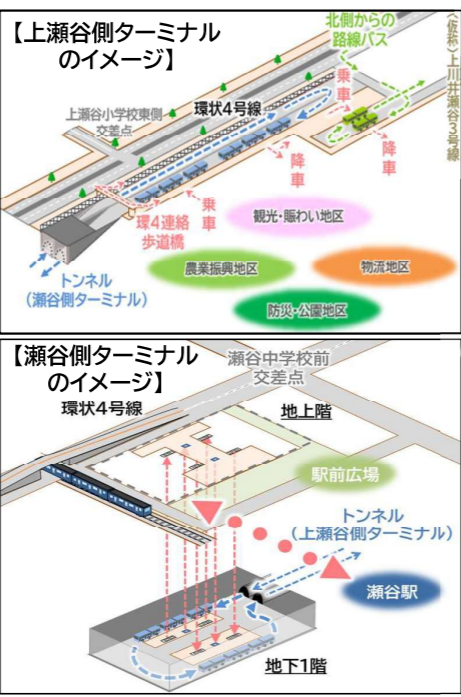
道路混雑の抑制や来街者への交通利便性の向上、将来的には誰もが移動しやすい持続可能な地域交通を整備し、横浜市西部地域の交通ネットワークを構築していくことを目的に、瀬谷・上瀬谷間において、環状4号線の地下約35メートルに専用道を整備します。地中の下水幹線を避けるため、瀬谷行・上瀬谷行の一方通行トンネルを1本ずつ計2本整備し、安全で安定した運行を実現します。

また、専用道を走る連節バスは、最大3台で隊列走行するため、少ない運転手でより多くの人を効率よく運ぶことができるようになります。

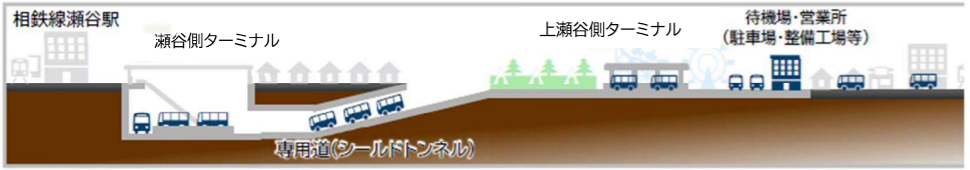
上瀬谷側には、地上にターミナル(右図)を設け、バス専用道と上瀬谷以北の路線バスを接続する拠点とすることで、南北方向のスムーズな移動が可能になります。

瀬谷側には、駅前広場と一体となる新ターミナル(右図)を整備し、鉄道から新たな交通(バス)への円滑な乗り換えを実現します。

2つのターミナルを専用道で直結し、移動しやすい地域公共交通の構築につなげます。



【バス専用道のイメージ】



【本市西部地域のネットワークのイメージ】



海軍道路の桜並木再生に向けて

旧上瀬谷通信施設地区で進めている「新たな桜の名所づくり」に向け、海軍道路の桜並木の再生が着々と進んでいます。

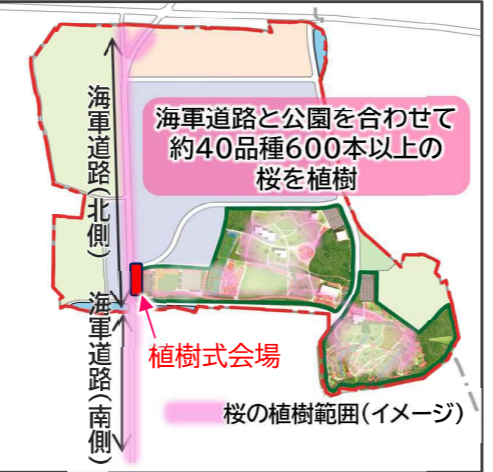
現在、樹木医による診断で、健全とされた桜(ソメイヨシノ)は、新たな公園等に移植するとともに、開花時期や花の色がソメイヨシノに近く、病害虫にも強い「コシノヒガン」への植替えを順次進めています。



植樹式の様子

令和8年1月24日には、地域関係者や、地元小学校の児童、横浜瀬谷高校の生徒に出席いただき、桜の植樹式を開催しました。式典では参加者全員でコシノヒガンへ土かけや水やりを行い、桜並木の再生に向けた第一歩を共有しました。

これまでの桜並木の歴史を継承し、その想いを未来につなぐため、海軍道路と公園を合わせて、約40品種・600本以上の桜で、親しみ愛される新たな桜の名所づくりに取り組んでいます。



「新たな桜の名所づくり」のイメージ図

■お問合せ先 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局 過去のニュースもご覧いただけます
上瀬谷整備事務所 上瀬谷整備推進課
〒246-0003 横浜市瀬谷区瀬谷町5810-6
電話:045-900-0594
E-mail: da-kamisui@city.yokohama.lg.jp

令和8年3月発行【第9号】
旧上瀬谷通信施設地区 まちづくりニュース

旧上瀬谷通信施設地区で進めているまちづくりの状況をお知らせするために、「旧上瀬谷通信施設地区まちづくりニュース」を発行しています。GREEN×EXPO 2027やその後のまちづくりに向けた工事進捗状況等をお知らせします。

GREEN×EXPO 2027 まであと1年 (R9.3.19開幕)

GREEN×EXPO協会から、花・緑出展の一部の概要が記者発表されたのでご紹介します。ここでしか見られない庭園や花壇、生け花などの多種多様な花・緑の作品が会場を彩ります。



(仮称)石勝エクステリア(東急不動産グループ) ©2026 ISHIKATSU EXTERIOR INC.



みどりと共に-2127-。景観10年・風景100年・風土1000年を礎に、造園技術とネイチャーベースドソリューション(NbS)による暑熱対策を行います。資源・雨水循環を取入れ、来場者に寛いでもらえる自然と共生した憩いの空間を提供します。

株式会社 サカタのタネ 提供元:株式会社 サカタのタネ



1913年に横浜で創業した(株)サカタのタネは、植物の始まりといえるタネの不思議や面白さ、タネから育てる植物の魅力をお伝えします。新品種の展示などを通じて未来を提案するとともに、植物と人を繋ぐアイデアも提供します。

一般社団法人日本造園組合連合会 提供元:一般社団法人 日本造園組合連合会



日本造園組合連合会に加入している全国の熟練技能者の技を結集させて作庭します。メインとなる石橋アーチ橋の前方に、棚田や東屋など人々の暮らしの風景をつくり、アーチの先には、希望のある未来を感じ取れるような空間を表現します。

株式会社ハイポネックスジャパン 提供元:株式会社 ハイポネックスジャパン



植物の健全な生育には「根張り」が重要です。根張りの促進や花・野菜の生育を力強く支えるために肥料は欠かせない存在です。本出展では普段は目にする事のない土の中の世界に焦点を当て、植物の生育の基盤となる「根づくチカラ」を分かりやすく紹介します。

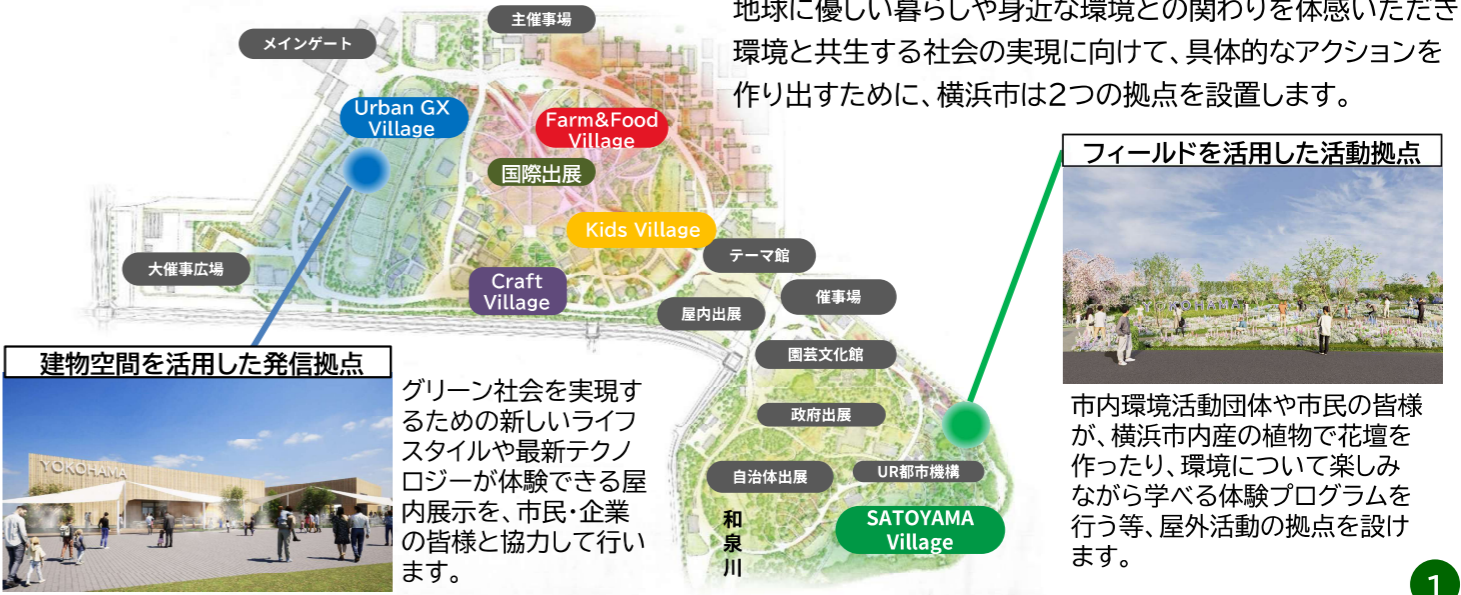
公益財団法人日本いけばな芸術協会 提供元:公益財団法人 日本いけばな芸術協会



諸流合同で多様ないけばな作品を展示する他、「いけばな文化史年表」や花型に関するパネルを展示いたします。「いけばな」を通じて、自然の持つ美しさや個性、会場にあふれる花の力、作家の想いをこめたいけばな芸術の神髄をこころゆくまでご覧下さい。

横浜市出展

※会場計画図 (GREEN×EXPO協会提供)



グリーン社会を実現するための新しいライフスタイルや最新テクノロジーが体験できる屋内展示を、市民・企業の皆様と協力して行います。



市内環境活動団体や市民の皆様が、横浜市内産の植物で花壇を作ったり、環境について楽しみながら学べる体験プログラムを行う等、屋外活動の拠点を設けます。

① 目黒交番前交差点の立体化

目黒交番前交差点における環状4号線の立体化工事を進めています。

7年度は、橋の土台となる(橋台及び橋脚)を整備するとともに、現地で橋の本体部分(橋げた)の組み立てに着手しました。

8年度は橋げたを架設するとともに、橋りょう前後の擁壁区間工事を進め、8年12月の完成を予定しています。



【環状4号線目黒交番前交差点立体化の工事状況】

⑤ 八王子街道の拡幅

八王子街道では、これまで2車線だった道路を4車線に広げる工事を進めており、日常的に渋滞が発生していた目黒交番前交差点付近の拡幅工事が、7年度に完了しました。

8年度も引き続き工事を進め、8年12月の拡幅整備完成を予定しています。



【工事状況(目黒交番前交差点付近)】

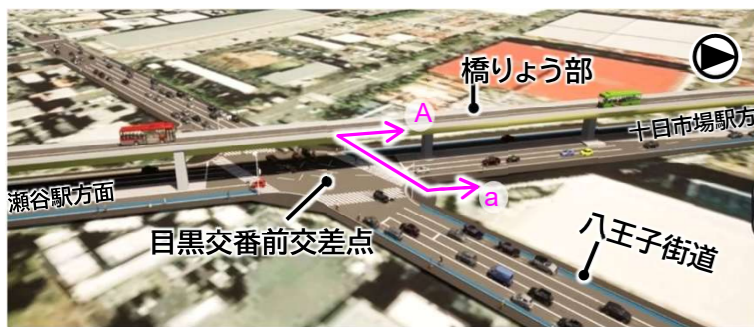
⑧ 道路、上下水道の整備

上川井瀬谷1号線については、車道の拡幅整備を進めており、EXPO開幕までの完成を予定しています。整備後は、EXPO会場へのアクセス路としても使われます。

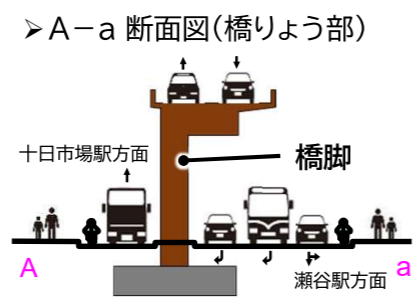
このほか、環状4号線の拡幅工事や上下水道の整備などを引き続き進めていきます。



【上川井瀬谷1号線等の工事状況】



【目黒交番前交差点の立体化の完成イメージ図】



➤A-a 断面図(橋りょう部)



■ 工事中の道路・上下水道等
 ■ 環状4号線バイパス道路
 ■ 上川井瀬谷1号線工事用う回路

②【農業振興地区】農地などの整備

土地活用と農業振興による郊外部の活性化を図るため、将来的に都市農業モデルとなることを目指した農業振興地区を設けています。農業振興地区では、これまで行われてきた農業を継承しつつ、新たに収穫体験など集客的な農業の展開やブランド農産物の創出などについて地権者の方々と検討しています。



畑地かんがいにより、各農地に給水栓を設け、そこから農地に散水ができる

8年度は、引き続き、検討を進めるとともに、畑地かんがい施設など、営農に必要な土台となる基盤整備を進めていきます。

【畑地かんがい施設の整備イメージ】

③ 環状4号線中瀬谷消防出張所前の拡幅

環状4号線中瀬谷消防出張所前交差点において、瀬谷駅方面からの右折車両が滞留できる右折レーンの整備を進めています。

④ 瀬谷駅北口駅前広場からGREEN×EXPO会場までの公共空間整備

相鉄線瀬谷駅からEXPOの会場までは、徒歩や自転車によるアクセスが想定されることから、多くの歩行者や自転車が安全に通行できる空間づくりを進めています。

8年度は、瀬谷駅北口駅前広場や環状4号線の徒歩空間を花・緑によって華やかに彩るとともに、EXPOを感じられる装飾などにより、会場に近づくにつれて期待が高まる空間を創り上げていきます。



【駅前広場のイメージ】



【徒歩空間のイメージ】

⑥ 三ツ境下草柳線の整備

EXPO開催までの開通の完成を目指して整備を進めています。

⑦ 瀬谷地内線の整備

中原街道の二ツ上橋交差点を起点とする瀬谷地内線は、相鉄線をくぐるアンダーパス部分の掘削工事などを進めています。

8年度は、EXPO開催期間中に車が一時的に通行できるよう、暫定的な道路整備を行う予定です。



【瀬谷地内線全景】

【トンネル断面図 (EXPO開催時)】
 ※一時的に車両が通行できるよう工事を進めます。

⑨ 相沢川調整池(地下式)の整備

将来の公園の地下に、雨水調整池を整備しています。

地下にコンクリートの構造物(右写真)を設置し、現在は埋め戻す工事を進めています。この雨水調整池は、一般的な小学校のプール約170杯分の水を一時的に貯めることができ、大雨時などに河川に流出する雨水の量を抑制し、地域の浸水に対する安全度を向上させます。



【相沢川調整池(地下式)の工事状況】

⑩【防災・公園地区】(仮称)旧上瀬谷通信施設公園の整備

「環境」と「防災」をテーマとした、広域防災拠点ともなる公園の整備を進めています。8年度は、EXPOの開催を見据え、植栽や園路の舗装、将来的に市民利用(環境学習など)の拠点施設となるパークセンター等の整備を進めます。



【和泉川源流部周辺の整備状況】



【パークセンターの整備状況】

広域防災拠点の整備

防災・公園地区に、本市で初めての広域防災拠点を整備します。大規模地震などが起きた場合に全国から集まる応援部隊(消防、警察、自衛隊等)の活動や、市内各避難所に救援物資をいち早く送り届けるための活動を支える防災拠点となります。

横浜市地震防災戦略(7年3月改定)に基づき、12年度に一部機能が発揮できるよう事業を進めていきます。



1 現地司令施設機能
 2 自衛隊
 2 警察
 2 消防
 3 物資の流通拠点機能
 4 防災補助機能
 5 防災体験機能(防災・公園地区内)